



今日の表紙
輪王寺強飯式



4月2日(木)、日光山輪王寺の護摩堂を会場に、強飯式が行われました。

この式の起源は、山伏が修行場のご本尊に供えた御供を持ち帰り、人々に分ち与えたことが始まりと言われています。

式は、修験者の姿をした山伏が3升のご飯が入った山盛りのお椀を強飯頂戴人に差し出し、「75杯残さず頂戴しろ」と荒々しく責め立てるもので、儀式を受けた強飯頂戴人や参列した人々は、七難即滅や家運長久などの運を授かると言われています。

鹿沼市から訪れた小林久枝さんは「初めて来ました。厳粛ですが、自分も強飯頂戴人として出たい」と、厳かな雰囲気にも圧倒された様子で話してくれました。

式の後には福を授ける縁喜がらまきが行われ、大勢の人々にぎわっていました。



3月22日(日)、イオン今市店で防災フェスタが開催されました。屋内の特設ブースでは、非常食の試食や防災グッズ展示、福島県出身の「えりのあ」のライブが行われた他、避難者の会「日光いろは会」から、東北の味・玉こんにゃくと甘酒が振る舞われました。また、今市高等学校・今市工業高等



学校の生徒たちによる、被災地での活動写真を一枚のモザイクアートにした大作が展示され、人々は感心した様子で眺めていました。屋外ブースでは、消防車の展示や救命救急講習などが開催され、家族連れなどにぎわいました。煙通路体験に家族で挑戦した野口瑛汰くん(宇都宮市)は「前が見えにくくて歩きにくかったけど、煙が充満した通路を歩き、火災の怖さを体感した様子でした。」



3月29日(日)、今市地域岩崎で岩崎観世音大祭が行われました。この寺は、今から約1900年前、弘法大師が開いたと伝えられています。70段の階段を上って行くと、精巧な獅子や鶴などの素晴らしい彫刻と極彩色で描かれた天井を持つ本堂があります。また、奥の院の小さな祠の中には、高さ1mほどの浮き彫りの石像が鎮座しています。これが、子授けの信仰で知られる鶴の子観音です。



毎年3月の最終日曜日の縁日には、参拝者が卵をもらって帰り、子宝に恵まれると翌年2つの卵を返す習わしが、おおよそ400年続いています。家族で卵を返しに訪れた、泉田純夫さん(宇都宮市)は、「3年前に参拝し、子どもを授かりました。風邪もひかず、元気に育っています」と、笑顔で話してくれました。晴天にも恵まれ、家族連れなどで大変にぎわっていました。

NIKKO防災フェスタ

岩崎観世音大祭

桃の節句つるし雛飾り



3月1日(日)〜30日(月)に、日光田母沢御用邸記念公園で桃の節句つるし雛飾りが行われました。今回は、今年の干支の「未」と「藤」をテーマに布遊の会が約1年をかけ、丹念込めて作りしました。期間中は大勢の来場者が、色とりどりのつるし雛を楽しみました。

雪割草展



3月16日(月)〜22日(日)に、今市宿市縁ひろばで雪割草展が開催されました。雪割草は非常に種類が豊富な山野草で、会場には白や赤、紫などの色とりどりの花が咲き乱れていました。初日の16日は、平日にも関わらず県内各地から雪割草を買い求める愛好者が集まり、会場は熱気にあふれていました。

東武「鉄道むすめ」
スプリングフェスタ



3月13日(金)・14日(土)、東武「鉄道むすめ」スプリングフェスタ2015が東武鬼怒川温泉駅周辺で開催されました。

13日は2015ミスきぬがわのお披露目や駅長座談会などが行われ、14日は街中スタンプラリー大抽選会や東武「鉄道むすめ」記念撮影会などが行われました。

また、2日間を通し、地元の店舗などの協力により、ご当地屋台の出店やアニメのキャラクターなどを車に装飾した「痛車」が全国各地から集まり、展示会が行われました。

2日間で、延べ約2,000名の来場者でにぎわい、それぞれ思い思いに楽しんでいました。

安保さん(上三川町)は「ネットでこのイベントを知りました。思ったよりも痛車が集まっていますね。また来年も来たいと思います」と話してくれました。



全日本手打ちそば早食い選手権



3月15日、日光だいや川公園で全日本手打ちそば早食い選手権が開催されました。このイベントは、制限時間の4分以内(650グラムの手打ちそば)を食べる時間を競うものです。晴天に恵まれたこの日、会場は県内外から集まった多くの出場者でにぎわいました。制限時間内に食べきれなくて残ってしまう出場者も多量中、優勝



者は約40秒という驚異的な早さでそばを平らげ、観客たちを驚かせていました。宇都宮市から家族で訪れた安田さんは、「お天気も良く最高ですね。見ていただけでお腹いっぱいになっちゃいました」と笑いながら話してくれました。なお、同会場では14日(土)・15日(日)の2日間、グルメ市も開催され、多くの人が訪れていました。